

平成24年度 京都府中学校学力診断テストの結果の概要について

平成24年度京都府中学校学力診断テストを実施しました。
学力調査と質問紙調査の結果について概要をお知らせします。

平成24年12月26日
学校教育課

■全体的な学力は、ほぼ定着している。

- 国語 ◆ 「話すこと・聞くこと」と「読むこと」の領域は、ほぼ定着している。
◆ 「書くこと」の領域に一部課題がある。
- 数学 ◆ 「数と式」と「関数」の領域は、ほぼ定着している。
◆ 「図形」の領域に一部課題がある。
- 英語 ◆ 「聞くこと」の領域は、小学校外国語活動の成果が表れていると考えられる。
◆ 「書くこと」の領域に一部課題がある。



■家庭での学習習慣については依然課題がある。

平日の家庭での学習時間が30分未満の生徒の割合は24.4%であり、昨年度よりもやや改善したものの、依然として課題がある。（昨年度25.9%）

■規範意識については、やや改善が見られる。

「学校や社会のきまりや規則を守っている」の質問に、「当てはまる」と回答した生徒の割合は40.0%であり、昨年度より3.3ポイント増加している。

「いじめはどんな理由があってもいけないことだと思う」の質問に、「当てはまる」と回答した生徒は71.8%であった。（21年度全国学力・学習状況調査56.1%）

■携帯電話の所持率が増加している。

携帯電話の所持率が66.6%であり、昨年度より増加している。（昨年度60.0%）

改善プラン

「包み込まれているという感覚」 を実感できる教育活動を展開する。



■生徒の学ぶ意欲を引き出し、個に応じた指導の一層の充実と授業改善を進める。

質問紙調査結果を生徒の学力把握に活用し、少人数教育推進担当教員が中心となり、「京都式少人数教育」を更に推進し、指導方法の工夫改善を図る。

- ◆ 「中学校教育課程京都府研究大会」を実施【平成24年8月6日】
- ◆ 「中学校学力の状況分析・活用講座」を実施【平成25年1月22日・25日】

■規範意識や豊かな人間性を育むために、「道徳の時間」の指導の充実を図る。

■すべての中学校で「非行防止教室」を実施する等、生徒が社会のきまりや規則を学習する機会を増やす。

■スマートフォンをはじめとする携帯電話に潜む危険性や家庭でのルール・使い方等について保護者への啓発を進める。

- ➡ 「保護者のみなさまへ 家庭で話そう！ ～ケータイ利用のルールとマナーについて～」リーフレットを全家庭に配付
京都府教育委員会 平成24年7月発行

■子どもの出すいじめに対するサインを見逃さないで受け止めることができるよう、保護者への啓発を進める。

- ➡ 「児童生徒用クリアファイル」並びに「保護者への啓発リーフレット」を全家庭に配付
京都府教育委員会 平成24年8月発行

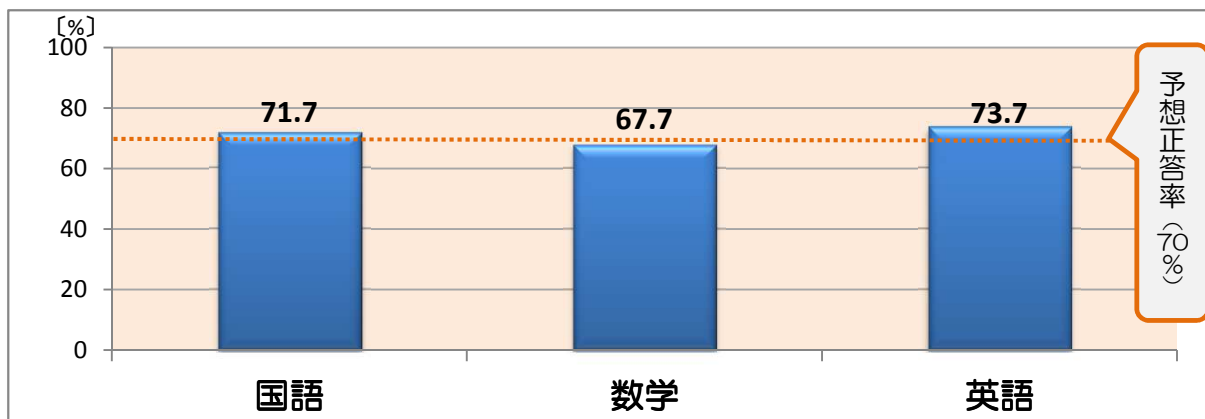
- | | |
|-----------------|----------------------------------|
| 1 実施日 | 平成24年10月24日（水） |
| 2 実施対象 | 府内中学校（99校） 特別支援学校（3校） |
| 3 実施教科及び受検者数 | 国語 10,440人 数学 10,450人 英語 10,459人 |
| 4 問題内容及び問題数 | |
| (1) 基礎・基本に関する問題 | ・・・15問 |
| (2) 活用に関する問題 | ・・・10問 |
| (3) 質問紙調査 | ・・・24問 |

担当課 学校教育課
課長 沖田 悟傳
内線 5830

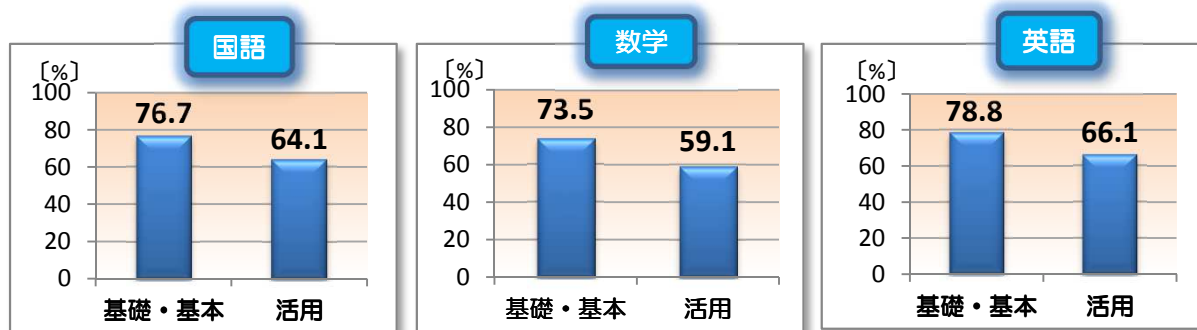
5 結果の状況（京都府全体）

(1) 教科別

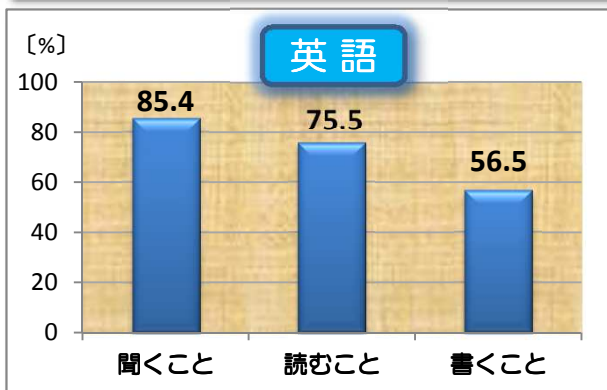
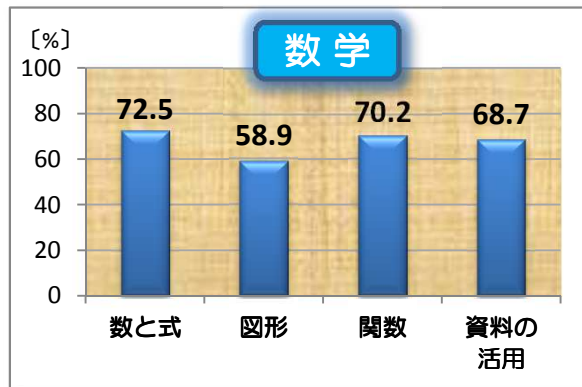
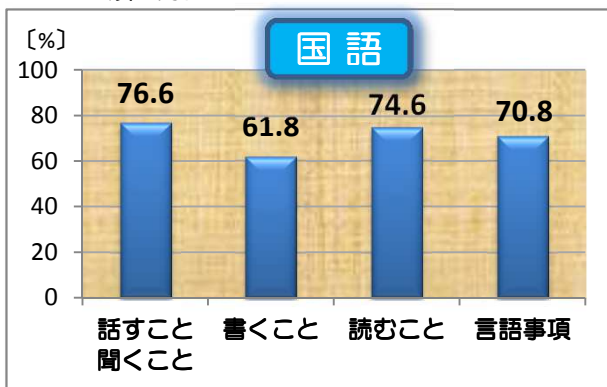
※数値はすべて正答率（100%）



(2) 問題類型別（基礎・基本に関する問題 活用に関する問題）



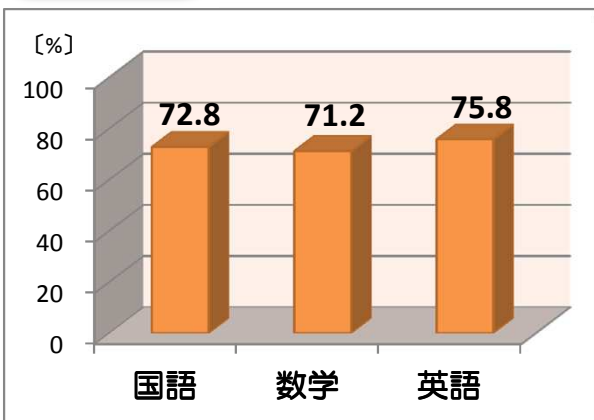
(3) 領域別



(4) 教育局別平均正答率

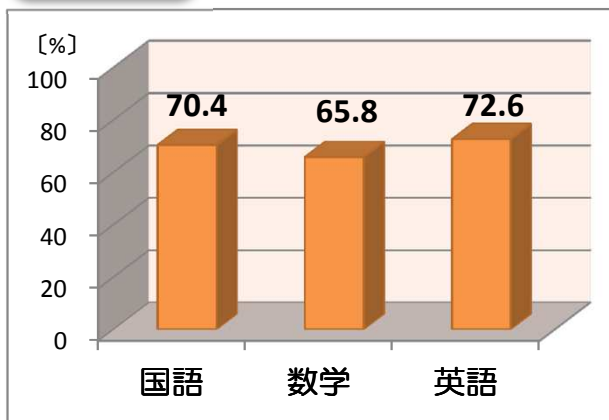
**乙訓
(8校)**

国語 (1,245人 11.9%)
 数学 (1,246人 11.9%)
 英語 (1,249人 11.9%)



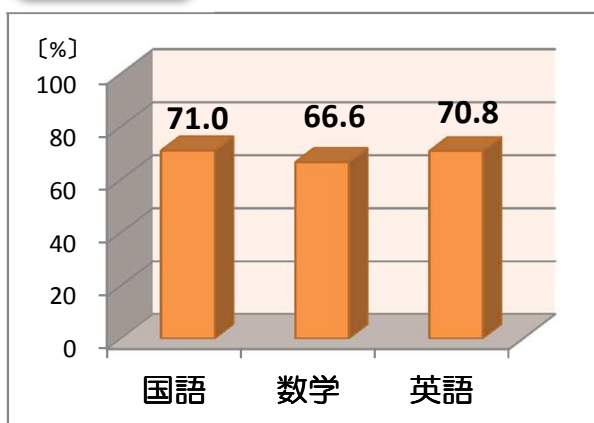
**山城
(34校)**

国語 (4,854人 46.5%)
 数学 (4,863人 46.5%)
 英語 (4,866人 46.5%)



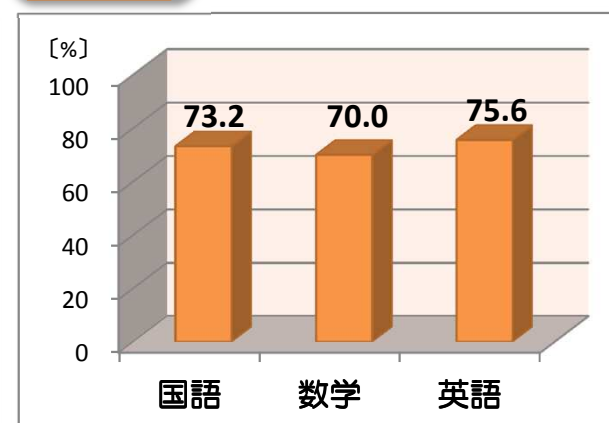
**南丹
(15校)**

国語 (1,317人 12.6%)
 数学 (1,317人 12.6%)
 英語 (1,317人 12.6%)



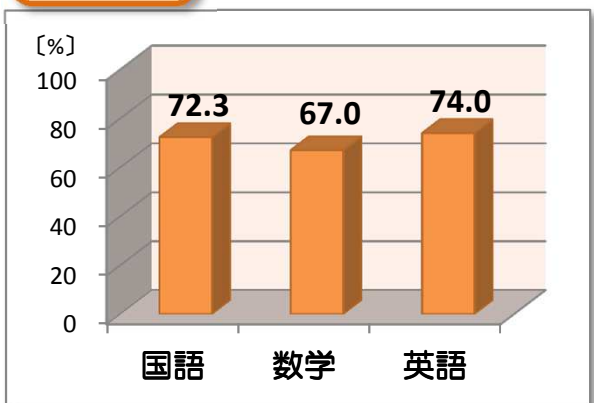
**中丹
(22校)**

国語 (1,859人 17.8%)
 数学 (1,859人 17.8%)
 英語 (1,862人 17.8%)



**丹後
(18校)**

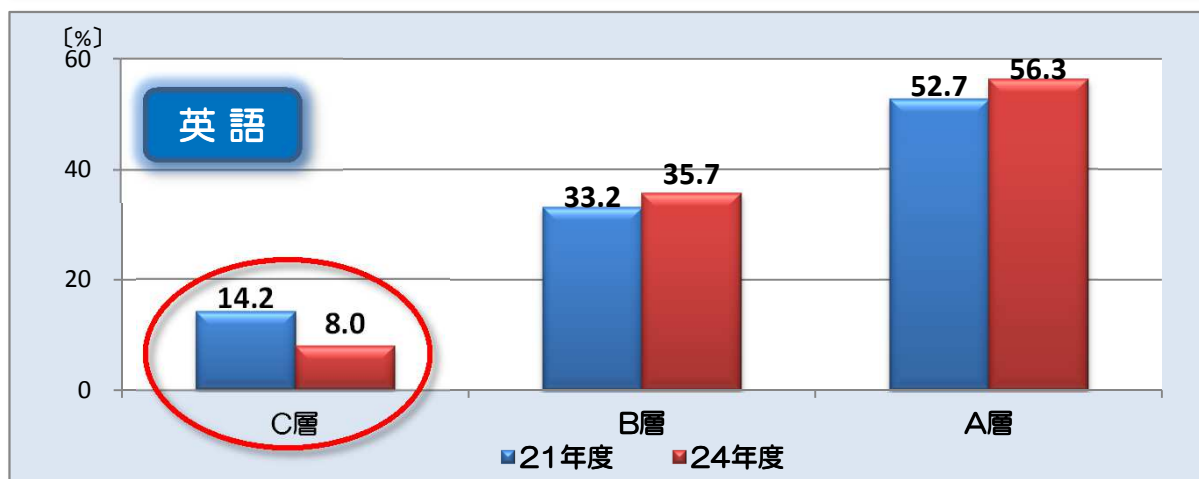
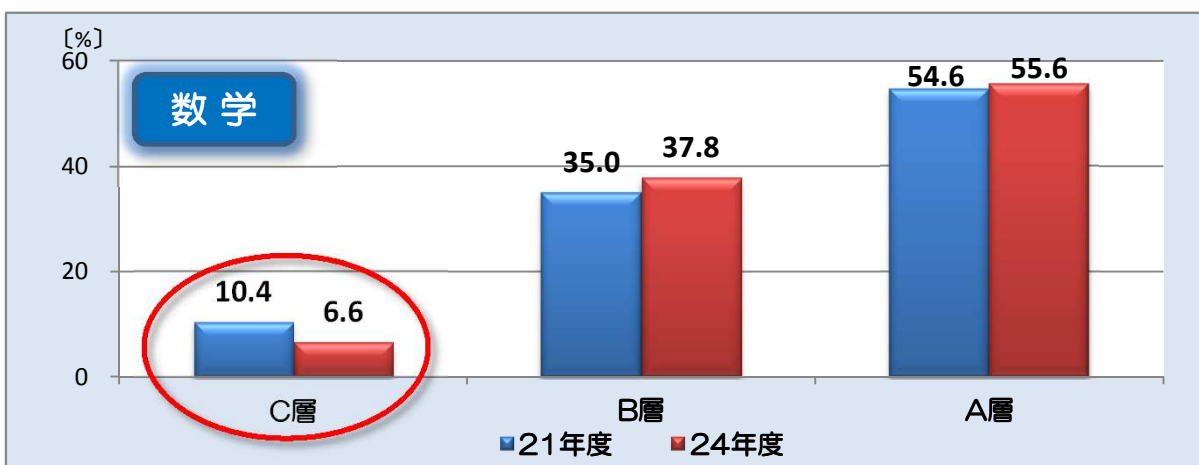
国語 (1,037人 9.9%)
 数学 (1,037人 9.9%)
 英語 (1,037人 9.9%)



() は、
 (受検者数 府全体の受検者数に占める割合) を表す。

(5) 学力分布の経年比較

中1振り返り集中学習「ふりスタ」が実施されていなかった平成21年度の中学2年生と、ふりスタを実施した生徒がいる平成24年度の中学2年生の結果を比較すると、三教科とも課題がある学力層が減少している。



【分析方法】

各教科・各年度の平均正答数以上の生徒をA層とし、平均正答数未満の生徒をB層（上位）、C層（下位）に二分割して分析

(例) 平均正答数が16問なら、16問以上がA層、8問以上16問未満がB層、8問未満がC層